

本 会 記 事

第 104 回 日本放射線化学会 理事会議事録

日時 平成 28 年 3 月 23 日 (水) 16:00-18:00

場所 大阪大学産業科学研究所講堂

出席者 小嶋拓治 (原子力機構), 鷲尾方一 (早大), 平出哲也 (原子力機構), 吉田陽一 (阪大), 真嶋哲朗 (阪大), 堀邊英夫 (大阪市大), 錦見敏朗 (NHV コーポレーション), 鈴木信三 (京産大), 中川清子 (都立産技研), 前川康成 (原子力機構), 田川精一 (阪大), 室屋裕佐 (阪大, 古澤孝弘代理)

議題

1. 前回 (第 103 回理事会) 議事録 (案) (事務局 吉田)
第 103 回理事会の議事録が確認された。
2. 平成 27 年度役員名簿 (事務局 吉田)
企画委員長の人選について議論がなされた。
3. 平成 27 年度賛助会員名簿 (事務局 吉田)
原子力機構が一時的に退会していたが, 賛助会員に復帰した旨, 説明があった。(平出理事)
4. 平成 27 年度予算執行状況 (事務局 吉田)
平成 27 年度の放射線化学会賞については, 自薦・他薦ともなかったため, これに係る出費はなかったとの説明があった。また, 当会の予算は厳しいが, 国際学会の旅費等を念頭とした若手支援は継続すべきとの議論があった。これに関連して, 鷲尾理事より, IRaP2016 実行委員会で若手支援プログラムを行うことが決まったので, 関連する学生等への周知の協力と, 当会ウェブページを通じての情報の発信の依頼があった。
5. 入退会一覧 (事務局 吉田)
入退会者一覧について確認した。
6. 会員について (事務局 吉田)

終身正会員制度の適用権利保有者に個別に案内するようにとの提案があった。

7. 各委員会報告 (編集, 企画, 国際交流, 推薦)
各委員会の行事・実施計画や, 国際・国内学会の年間スケジュールを作成し理事に周知することが決まった。討論会時に推薦委員会を開催する案が話し合われた。また, 討論会に関する当会からの補助金の取り扱い, 特に学会名等の公的銀行口座の使用に関する議論がなされた。
 - 国際交流委員会 (鷲尾理事・国際交流委員会委員長)
今年度の放射線化学討論会に合わせ, 国際交流委員会を開催する旨, 報告があった。
 - 編集委員会 (平出理事・編集委員会委員長)
会誌の出版予定に関して報告があり, 次号から, 低いエネルギー領域の計算を組み込むことで放射線化学においても利用が重要となる, PHITS に関する特集記事がでることが報告された。また, 過去の会誌の記事から興味深い記事を取り上げ, 再度議論をして頂くような記事に関する計画が報告された。これに関連して会誌の PDF アーカイブ化の検討を行うこととした。編集委員から, 交代したいが企業に所属しているため, 次の委員の指名が難しいので助力してほしいと要望があった。また, 編集委員会に企業に所属する人が必要かどうか議論された。鷲尾副会長から, 企業からの視点は重要であるので, 企業の方にも編集委員を継続していただきたいとの意見が出され, 次の委員も企業所属者から調整することとなった。編集委員会報告の会誌の PDF 化に関連して, 学会として, 要旨集の 40 周年以降の PDF 化について議論があった。
8. 夏の学校, シンポジウム, 研究会, その他

本 会 記 事

今年の夏の学校は阪大産研・古澤研究室が担当することが報告された。また、アイソトープ・放射線研究発表会では、若手賞もあるので是非多くの発表をお願いしたいと吉田理事から要望があった。また鷺尾理事より、RadTechAsia2016が10/24-27の日程で台場・日航ホテルで開催されるので、是非参加して欲しいと紹介があった。小嶋会長より、日本放射線研究連合（JARR）幹事会出席報告として、ICRR2015は大成功であったこと、および会長、副会長が交代したことが報告された、鷺尾理事から、JARRの副会長を引き受けたとの報告があった。4th ACRRがカザフスタンで行われる予定であり、国際交流委員会として参加を奨励したい、とのことであった。

9. Radioisotope (RI) 誌特集について (鷺尾副会長)
現在日本アイソトープ協会に所属している勝村元会長から RI 誌上における放射線化学の特集が提案されており、その進捗が報告された。放

射線化学会として特集を企画し、鷺尾副会長を学会側担当者として著者候補者に執筆依頼を行う旨、報告があった。複数の理事から、企画の経緯と著者の選考とについて質問がなされ、著者と構成について一部再検討することとなった。

10. 各大学、研究機関、企業近況報告
前川理事より、4/1 から日本原子力研究開発機構（原子力機構）の一部が量子科学技術研究開発機構（量子機構）となる旨、説明があった。
11. 放射線化学賞（吉田理事）
平成 28 年度の放射線化学会賞は自薦・他薦ともになく、該当者なしとなることが説明された。
12. その他
特になし。
- 以上

本 会 記 事

平成 28 年度役員等名簿（平成 28 年 10 月 6 日現在）

会長	小嶋 拓治（量研機構・高崎）	
副会長	鷺尾 方一（早大理工研） 吉田 陽一（阪大産研）	平出 哲也（原子力機構・東海）
常任理事	錦見 敏朗（NHV コーポレーション） 河内 宣之（東工大院理工） 丑田 公規（北里大理） 伊藤 賢志（産総研） 浅井 圭介（東北大院工）	辻 正治（九大炭素資源センター） 永石 隆二（原子力機構・東海） 真嶋 哲朗（阪大産研） 前川 康成（量研機構・高崎） 高橋 憲司（金沢大工）
理事	青木 康（住友重機械） 長島 章（放振協） 小泉 均（北大院工） 小嶋 崇夫（大阪府大） 工藤 久明（東大院工） 熊谷 純（名大） 鈴木 信三（京産大理） 関 修平（京大院工） 堀邊 英夫（大阪市大院工） 林 慎一郎（広島国際大） 田中 真人（産総研） 岡 壽崇（東北大高教機構） 古澤 孝弘（阪大産研）	砂川 武義（福井工大） 竹中 康之（北教大） 中村 一隆（東工大セラミック研） 中川 清子（都立産技研） 駒口 健治（広大院工） 藤原 邦夫（千葉大工） 泉 佳伸（福井大） 山路 稔（群馬大院工） 加藤 隆二（日本大） 菊間 博之（極東産業） 田口 光正（量研機構・高崎） 越水 正典（東北大院工） 伴 弘司（高エネルギー加速器研）
監事	勝村 庸介（日本アイソトープ協会）	平岡 賢三（山梨大工）
事務局	吉田 陽一（阪大産研）	楊 金峰（阪大産研）
顧問	佐藤 伸 田川 精一（阪大産研） 田畑 米穂（原子力システム研究懇話会） 市川 恒樹（北大院工）	篠野 嘉彦 濱 義昌（早大理工研） 南波 秀樹（放振協） 中川 和道（阪大産研）
名誉会員	今村 昌 団野 皓文	近藤 正春
編集委員会	委員長：平出 哲也（原子力機構・東海） 主任：山下 真一（東大院工） 岡本 一将（北大院工） 甲斐 健師（原子力機構・東海） 加藤 昌弘（産総研） 菅 晃一（阪大産研） 佐伯 誠一（量研機構・高崎） 端 邦樹（原子力機構・東海）	林 慎一郎（広島国際大） 伊藤 賢志（産総研） 岡 壽崇（東北大高教機構） 田中 真人（産総研） 藤井 健太郎（量研機構・東海） 椎名 孝行（千代田テクノ） 竹内 夕桐子（極東産業）
企画委員会	委員長：越水 正典（東北大院工） 青木 康（住友重機械） 小泉 均（北大院工） 駒口 健治（広大院工） 佐藤 哲也（山梨大） 砂川 武義（福井工大）	田口 光正（量研機構・高崎） 辻 正治（九大炭素資源センター） 藤井 健太郎（量研機構・東海） 室屋 裕佐（阪大産研） 楊 金峰（阪大産研）
国際交流委員会	委員長：鷺尾 方一（早大理工研） 室屋 裕佐（阪大産研） 田口 光正（量研機構・高崎）	泉 佳伸（福井大） 林 銘章（中国科技大） 楊 金峰（阪大産研）
推薦委員会	田川 精一（阪大産研） 立矢 正典（産総研） 南波 秀樹（放振協）	濱 義昌（早大理工研） 平岡 賢三（山梨大工） 柴田 裕実（阪大産研）

本 会 記 事

平成 27 年度会計決算報告（決算日:平成 28 年 9 月 1 日現在）

収入の部

(単位：円)

項目	27 年度予算案	27 年度決算	内容等
賛助会員	270,000	290,000	1 社退社, 未納 2 口 (2 社) × 1 年 20,000 円
個人正会員 (190 名)	760,000	659,000	正会員 入金金額 650,000 (含過年度分) [未納 445,500 円]
学生会員 (11 名)	16,500		学生会員 入金金額 9,000 [未納 9,000 円] 未納金額累積合計 454,500 円
終身正会員寄付金 (14 名)	-	64,000	移行者 2 名
雑収入 (利息等)	-	49,347	著作権料
		148	受取利息 (国際文献分 64 円, 事務局分 84 円)
		1,000	事務局用口座開設用 (臨時)
100 号記念誌広告掲載料 (10 件)	-	179,892	20,000 円 × 7 件, 10,000 円 × 2 件, 19,892 円 (振込手数料引いた金額) × 1 件
100 号記念誌頒布料	-	4,260	放射線化学会誌 100 号 (1,300 円 × 3 冊 + 送料 360 円)
戻入金	-	212,238	
補助金	-	-	
積立基金からの繰り込み	-	-	
前年度繰越金	1,544,315	1,544,315	
合計	2,590,815	3,004,200	

(5,5)

支出の部

項目	27 年度予算案	27 年度決算	内容等
通信連絡費	20,000	21,895	切手代・郵送料・レターバック代
振込手数料	-	3,024	国際文献社分 1,188 円, 事務局分 1,404 円 +432 円
事務委託費		81,790	国際文献社 (H27.3-H27.6 24,440; H27.7-H27.8 57,350) H26 年度積み残し分
年間業務費	700,000	684,731	国際文献社 (H27.9-H27.12 438,340; H28.1-H27.2 56,040; H28.3-H27.5 77,538; H28.6-H27.8 112,807) H27 年度分
会誌 原稿料	350,000	490,209	会誌印刷・発送業者委託料 (芳文社)
会議費	15,000	-	
放射線化学討論会援助	200,000	-	(H28 年度予算にて執行予定)
先端放射線化学シンポジウム援助	100,000	-	
若手の会夏の学校援助	150,000	-	(H28 年度予算にて執行予定)
学会賞	100,000	-	(該当者なしにて未執行)
企画委員会経費	75,000	-	
国際交流委員会経費	75,000	-	
編集委員会経費	200,000	200,000	
日本放射線研究連合負担金	50,000	50,000	
ホームページ運営費	65,000	4,838	HP ドメイン料 3,240 円, HP ドメイン更新料 1,598 円 (Web 管理者への謝金 50,000 円は H28 年度予算にて執行予定)
雑費	-	5,491	封筒作成 5,491 円
		1,000	事務局用口座開設用資金返却分
		1,904	新事務局口座開設費
予備費	200,000	-	
小計	2,300,000	1,544,882	
年度後半繰越金	453,815	1,459,318	
合計	2,753,815	3,004,200	

本 会 記 事

平成 28 年度 入退会希望者一覧

入会

会員種別	会員番号	会員名	所属機関名	紹介者
正会員	710	市川 達也	ラジエ工業株式会社	
正会員	711	猪俣 晃一	さいがた医療センター	
学生会員	712	川中 一平	早稲田大学	鷲尾 方一
学生会員	713	西留 武宏	早稲田大学	鷲尾 方一
学生会員	714	横田 龍輝	早稲田大学	鷲尾 方一
学生会員	715	金森 航	大阪大学	室屋 裕佐
賛助会員	698	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構		平出 哲也
賛助会員	708	東邦金属株式会社		熊谷 純
賛助会員	709	株式会社イング		熊谷 純
賛助会員	716	公益社団法人日本アイソトープ協会		小嶋 拓治
賛助会員	719	株式会社千代田テクノル		小嶋 拓治

退会

会員種別	会員番号	会員名	所属機関名	退会日
正会員	153	貴家 恒男	日新エレクトロニクスサービス (株), 放振協, ラジエ工業 (株)	2016/8/31
正会員	199	池浦 広美	産業技術総合研究所	2016/3/24
正会員	227	谷口 仁		2016/8/1
正会員	509	石岡 寿雄	九州大学大学院 総合理工学研究院	2015/11/4
正会員	520	松岡 雷士	広島大学大学院工学研究院	2016/8/31
正会員	582	波多野 雄治	富山大学 水素同位体科学研究センター	2015/11/10
正会員	674	松本 裕之	岩崎電気株式会社 研究開発部	2016/7/27
正会員	697	斉藤 敏夫	ラジエ工業株式会社	2015/11/4
賛助会員	690	メック株式会社		2016/3/1

平成 28 年度 日本放射線化学会賛助会員

住友電気工業 (株)
<http://www.sei.co.jp>

(株) NHV コーポレーション
<http://www.nhv.jp>

ビームオペレーション (株)
<http://www.beamope.co.jp>

(一財) 放射線利用振興協会
<http://www.rada.or.jp>

レーベン館 (株)
<http://www.leben.jp>

(株) 環境浄化研究所
<http://www.kjk-jp.com>

(株) イー・シー・イー
<http://www.ece-ebara.com>

(有) イーオーアール
<http://www.eor.jp>

極東産業 (株)
<http://www.kyokuto-sangyo.co.jp>

ヨシザワ LA (株)
<http://www.yoshizawa-la.co.jp>

岩崎電気 (株)
<http://www.iwasaki.co.jp>

日本原子力研究開発機構
<http://www.jaea.go.jp>

量子科学技術研究開発機構
<http://www.qst.go.jp>

東邦金属 (株)
<http://www.tohokinzoku.co.jp>

(株) イング
<http://www.ing-co.jp>

(公財) 日本アイソトープ協会
<http://www.jrias.or.jp>

(株) 千代田テクノル
<http://www.c-technol.co.jp>

放射線化学 第102号〈WEB版〉

平成28年10月30日発行

発行所 日本放射線化学会

〒567-0047 大阪府茨木市美穂ヶ丘8-1

国立大学法人 大阪大学 産業科学研究所

産業科学ナノテクノロジーセンター

ナノ極限ファブリケーション研究分野

(吉田陽一研究室)

e-mail: jsrc@sanken.osaka-u.ac.jp

TEL: 06-6879-4285, FAX: 06-6879-4287

編集委員長 平出 哲也

編集委員 山下 真一

越水 正典 武井 太郎

端 邦樹 菅 晃一

佐伯 誠一 甲斐 健師

伊藤 賢志 田中 真人

藤井 健太郎 岡 壽崇

郵便振替口座 長野 00540-9-34599

日本放射線化学会

発行人 小嶋 拓治